

暑熱

家畜の生産性の維持、向上のために 夏場の飼養管理を確認しましょう!

例年、高温多湿となる夏場には乳牛の乳量減少や乳質の低下が発生します。酪農家は夏場の生乳出荷量を維持し、乳質の低下を防ぐため、暑熱対策に取り組まれていると思いますが、いま一度、乳牛の飼養管理の確認など暑熱対策を実施しましょう。

高温多湿となる夏場の乳房炎発症に注意しましょう

乳房炎の予防 牛床の敷料交換、除ふんの励行、定期的な搾乳機器の点検、搾乳前後のディッピングの実施等をする。

乳房炎の早期発見 毎日の搾乳時における乳房や乳汁の状態、バルク乳の体細胞数の変化などのチェック、牛群検定データの活用等を実施する。



体細胞数の増加による損失

体細胞数	乳量損失	年間損失額 (1戸当たり)
30~50万	4%	約100万円
50~100万	8%	約200万円

注) 年間損失額は経産牛40頭、乳量7,700kg、乳価1kg当たり82円で換算。



社団法人 **中央酪農会議**

暑熱 暑熱対策のポイント

POINT 1 牛舎内の温度上昇の防止と湿気、アンモニアの排出に心がけましょう!

牛舎内に空気の流れを作る。強制的に換気する。

- 窓の開放、壁に開口部の設置、障害物の撤去、扇風機の設置等をする。

屋根を断熱、冷却する。直射日光を遮る。

- 屋根への散水、スプリンクラーの設置、日除け・ひさしの設置等をする。



POINT 2 牛体からの放熱の促進に努めましょう!

毛刈りをする。削蹄する。

- 分娩予定牛、高泌乳牛、高齢牛を毛刈りする。
- 全体の毛刈りが無理な場合は、上半身や腹部など一部を毛刈りする。
- 定期的な削蹄、牛床のクッション性の確保など牛の快適性を改善する。

牛体に送風する。気化熱の利用。

- 扇風機の設置、細霧機などで牛体に水を噴霧する。

夜間の外気を利用する。

- 夜間の放牧、パドックの利用等をする。



POINT 3 飼料摂取量減少防止と不足栄養分を補給しましょう!

新鮮な水を十分に給与する。

品質の良い粗飼料を給与する。

- 消化率の高い粗飼料の給与、切断長を短く給与回数を増やす。

飼料の変敗を防止する。

- 飼料の適正管理、飼槽を清掃する。

塩分、重曹などミネラル等を補給する。

